



あらゆる手法を用いた寄附集め

～ 認定 NPO 法人難民を助ける会 (AAR Japan) の取組 ～

団体の活動概要

1979年にインドシナ難民支援を目的に発足し、徐々に活動の分野や地域を広げながら、現在では、緊急支援、障害者支援、地雷・不発弾対策、感染症対策、国際理解教育（啓発）の5本を柱に活動。これまでに60を超える国・地域で活動して、現在は東日本大震災の復興支援を含め、世界15カ国での支援活動を実施している。

寄附手法の特徴

認定 NPO 法人難民を助ける会（以下、「AAR」）の活動を支援したいと考える、幅広い年齢層・職種の方々の支援参加に当たっての障害をできるだけ小さくするために、あらゆる寄附手法を採用し、寄附を集めているとのこと。2013年度における対価性のない寄附金額は約3億2,000万円。

また、他の団体が実施しているユニークな寄附手法があった場合、それが自団体においても導入可能であれば積極的に取り入れており、例えば、「ファンドレイジングボランティア」については2013年度に新たに導入。

表 導入している寄附手法の例

寄附手法	概要
インターネット募金	インターネットで寄附を申し込んだのち、クレジットカード、電子マネー、インターネット銀行、コンビニエンスストア、郵便振替、代金引換により寄附。
マンスリーサポーター	毎月500円以上から定額の寄附を金融機関やクレジットカードから継続的に引落とし。
郵便局・銀行での寄附	郵便局や銀行でAARの口座に振込み。
自宅で募金	電話、郵便、FAX等でAARに寄附を申し込むと、郵便局員が申込者のもとを訪れて代金引換で寄附。
家庭にあるものを寄附	未使用切手、書き損じはがき、未使用テレホンカード、商品券を寄附すると、AARの活動に要する郵送費や通信費等に使用。また、不要となった古本やCD等について、株式会社プレジャーワークスのブック募金に申し込むと、後日宅配業者によって回収され、査定後に買取り相当金額がAARに寄附。
ポイントやマイレージで寄附	カタログ通販のポイントや飛行機のマイレージ等のポイントサービスを使って寄附。
遺産・相続財産を寄附	遺言による財産の寄附や、香典や供花代を寄附する方法をパンフレット等で紹介し、相談も受付。
ファンドレイジングボランティア	資金調達のためのチャリティイベント等の企画から実施までをボランティアが主体的に行う。イベントの収益をAARの活動資金として活用。
寄附付き商品	売上げの一部がAARに寄附される商品を企業が販売。

寄附手法	概要
サニーちゃんグッズ販売	1997年の対人地雷廃絶キャンペーンの際に、うさぎのキャラクター「サニーちゃん」の絵本『地雷ではなく花をください』を出版。以降、AARのキャラクター「サニーちゃん」の絵本やグッズを販売し、収益を活動資金として活用。
サニーちゃんライフマスターカード	上述の「サニーちゃん」のクレジットカードに入会すると、500円が株式会社ライフからAARに寄附。また、カード利用額の0.3%を同社から寄附。
チャリティコンサート	団体設立時よりチャリティコンサートを毎年開催し、収益を活動資金として活用。
チャリティマラソン	AARの理事を務めるマラソンランナー・谷川真理氏の協力を得て、チャリティマラソンを実施。

図 サニーちゃんと絵本



地雷廃絶キャンペーン絵本『地雷ではなく花をください』(絵:葉祥明、文:柳瀬房子、自由国民社)より

□ 寄附を増やすための取組

ホームページでの活動状況の発信や会員・マンスリーサポーターに対する会報の送付等によって、寄附金の使途及び活用状況を積極的に発信し、団体の活動に対する透明性を高め、AARの信頼性の確保に努めているとのこと。また、万一、新たに災害等が発生した場合には、迅速に支援活動を実施する体制を整備し、寄附等によって支援を行いたいと思う方々の受け皿になり得るよう、日常的に情報収集等に努めているとのこと。

認定 NPO 法人難民を助ける会 (AAR Japan)

設立年	1979年(2000年にNPO法人格取得)
会長	柳瀬房子
理事長	長有紀枝
所在地	東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル7階
URL	http://www.aarjapan.gr.jp/
2013年度寄附収入	320,792,561円

(2014年12月作成)